

全国の聖徒団を訪ねて

日朝寺光明聖徒団の聖徒さんを

紹介します

日朝寺を盛り上げ精進して参ります

日朝寺光明聖徒団 柳内良夫さん



驚いていたものです。

お経をお唱えする檀信徒が多いのも日朝寺の特色です。お坊さんがお一人で読経されるのを聴くだけのお寺が多い中、みんなでお唱え出来るのは日朝寺の良き習慣です。

日朝寺は祖父母が通い始めて百年以上、私で三代となります。祖父母が他界した後伯父や父が総代を務めさせて頂き、私自身も父の葬儀の席で先代の文英上人から委嘱されて右も左も分からない中、優しい御指導のもと今日まで何とかお役を勤めさせて頂いております。

元旦零時、初夜の鐘と共に日朝寺本堂で寒さを堪え、大勢の檀信徒とお経を上げるのが一年の始まりでした。現在は休止中ですが日朝寺一番の想い出です。この時は本堂に入りきれないほどの人の多さに子供ながら

四誓願下、研鑽を積むことを誓います

日朝寺光明聖徒団 橋本京子さん

このコロナ禍、二年に亘りお寺の諸行事さえも変更・中止を余儀なくされる中で、私達は亡き文英上人の本葬を行うという課題に取り組みなければなら

せんでした。コロナ感染者の増加で「このまま準備を進めて良いのだろうか？」と悩みながらも「お世話になった大切な文英上人をきちんとお送りしたい」

一生涯美濃中の番長

岐阜県美濃市 常唱寺聖徒団 阪口慈幸団長



県警察本部長より感謝状が送られた

(美濃市広報誌「美濃濃い人美濃のひと」より抜粋)

「足かけ四十年！美濃中の番長ですよ」豪快な口調で笑いながら話すのは、美濃中学校の隣にある常唱寺の阪口慈幸さん。四十年以上にわたって美濃中学校の生徒を見守ってきた。昔は、校舎のガラスを金属バットで割ったり、体育館の裏でタバコを吸ったりというトラブルが日常茶飯事のようにあり、卒業生がバイクで校庭に侵入することもあったので、その度に体一つで止めに行ったと懐かしげに語る。

この活動を始めたきっかけは「性格上、見て見ぬふりができない」と。二十年ほど前からは、学校や



という思いでいました。十一月十五日日本葬当日は緊急事態宣言も解除され、穏やかな晩秋の一日となり、厳粛な中にも温かさ

ないんですよ」と、ただそれだけ。非行を注意して止めるだけでなく、正面から子どもたちと向き合い、とことん対話に努めた。一緒にゴミを拾ったり、ご飯を食へに行くこともしばしばで、自分の子のように接したという。非行は親とうまく向き合うことができない寂しさから生まれた反発心によるものが多く、「子どもたちは何も悪くないと感じていた」と話す。

次第に心を通わせるようになって、子どもたちは多い時で十五人ほど、常唱寺に朝から晩まで入り浸ることもあったため、妻からは「引越したい」とよく言われたという。それでも妻の純子さんはおにぎりを何度も振る舞うなど、いつの間にか子どもたちにとっての母親のような存在になっていった。我が子の面倒も見ないといけないうちに、妻には本当に苦勞をかけたと阪口さんは感謝を口にした。

二十年ほど前からは、学校や

に満ちた式を行うことが出来ませんでした。この時の感謝と安堵を私は忘れることはありません。

何分にも不慣れた私たちを指導いただきました皆様様に改めてお礼申し上げます。そしてこれから新任職妙翠上人と共に、四誓願下、研鑽を積むことを誓います。

警察からの要請もあり、青少年健全育成の活動も務めた。

最近はずっと違い、校内で荒れる子どもの姿は見なくなりましたが、いつの時代も形を変えて問題は起こり続けていると話す。

だからこそ「親子でちゃんと向き合える環境を作って、親子と一緒に成長して欲しい」と気持ちを決める。

これからは「元気な限りは活動を続けていきたい」という阪口さんの熱い視線は、今日も学校に向けられていた。

(以上、抜粋)



笑顔が素敵な阪口団長

阪口団長より

全国の聖徒の皆さま、我々は俱生神月守を着帯して未信徒の皆さまに自身の活動を通してお手本を見ることが大切な使命と存じます。各地域において団長上人と共に身近なところで俱生神月守の着帯拡大のため何か出来ることを通して日々精進してくださいね。私が考えるところ、まだまだ俱生神月守着帯の喜びを知らない人が多いと思います。互いに頑張り月守りの拡大拡大に貢献しましょうね。私も一生涯、美濃中番長として老体に鞭打って頑張ります。今年の身延大会で皆さまにお会いできることを楽しみにしています！

一人で悩まずに九識靈断法



わからないことは
ほげさまに相談

九識靈断法

悩みを抱えたとき、進路に迷ったときには、九識靈断法があります。これは日蓮大聖人のお教えから生まれた運命鑑定です。幸せな人生のために、よりよき人生のために。

相談内容

- 家運 業運 金融 縁談 交渉 取引 選挙
- 訴訟 失物 病氣 就職 受験 人物 移転
- 旅行 企画 など

相談例

医師国家試験に合格できますか

(相談者) 二十四歳 女性 医大研修生

大病院付属大学の研修生である相談者は、来年の三月に筆記と実技の医師国家試験がある。この試験に合格できるかどうかの判断で来寺した。これまでの医師国家試験では、大学の受験者及び、大学出身の受験者で不合格することはほとんどなかったが、今年受験者数が増えるため、厳しい受験になるだろうという判断である。国家試験まで三ヶ月の期間しかないで本人の実力がどの位あるか、これからどのような勉強をしたら良いかなどを中心に靈断した。

【御宝前にて靈断】

【靈断師による指導】

本人が考えている通り、今回の国家試験は非常に厳しい試験になることが予想されます。日々大学で研修している方が美談か実技試験は試験問題ないでしょう。しかし、筆記試験で実力不足が見られます。これからの三ヶ月は筆記試験を集中的に勉強すると良いでしょう。残りの期日も短いので、試験日まで体調を整え、試験会場の下見、何らかのトラブルがあった時の対応等を予測し調べてください。また、試験まで盛運祈願会に参加し、一緒にお題目を唱えて合格を祈願しましょう。

【結果】

靈断師の指導に従い、筆記試験を中心に勉強した結果は無事に合格。しかし、今回の試験は管轄である厚生省医師国家試験事務局による試験変更の年だったようので例年よりも合格率が低い試験であった。

第百三十一回 日蓮大聖人の歩まれた道

『立正安国論』客五に問う(三)

靈断院教務部長
小泉 輝泰

「釈尊説法の内、一代五時の間に先後を立てて権実を弁ず。しかるに曇鸞、道綽、善導、すでに権に就いて実を忘れ、先に依つて後を捨つ。いまだ佛教の淵底を探らざる者なり。就中法然その流れを酌むといえどもその源を知らず。所以は何ん。大乘經六百三十七部二千八百八十三卷、並に一切の諸佛菩薩、及び諸の世天等をもつて捨閉闍拋の字を置いて、一切衆生の心を薄す。これ偏に私曲の詞を展べて、全く佛經の説を見ず。妄語の至り、悪口の科、言いても比なく責めても余りあり(立正安国論)

主人は法然の咎を知らしめるために、このように話しを続けました。

「釈尊が御生涯で説かれた教



えには次第があり、その内容には方便の教えと真実の教えがあります。釈尊は人びとの理解力に合わせて、やさしい教えからより深い教えへと説き進み、最後にご自身の悟りの真髓を説かれたのが『法華經(妙法蓮華經)』なのです」

八万宝蔵ともいわれるお釈迦さまの説法は、教え導かれる人々の機根に合わせて次第にその難易度を上げて説かれた、という話しは既に多くの方々がご存じだと思います。そして四十余年の長い歳月を経て、いよいよ悟りの寸前にまで至った弟子信者たちに対し、「これから私が本当に伝えたいかった教えを説こう(四十余年未顕真実)」と語り始めたのが『法華經』なのです。『法華經』とはそれだけ難解な教えであります。それ故に唯一無二の真理を説き顕した教えでもあるのです。

「しかし、曇鸞、道綽、善導ら先師たちは、釈尊が初手として説いた方便や権教を重んじて、最後に本意を述べられた実教である『法華經』を忘れ、こともあろうに捨ててしまったのだ。これらの先師は、いまだ佛教の深淵を究めることのない未熟者といわざるをえないであろう」

こうして主人は、まず客の問いに語られた先師



たちの咎を露わにしました。『法華經』こそが釈尊出世の本懐であることは、遡ること数百年前に天台大師によって明らかにされたものであり、中国全土のあらゆる高僧たちも、天台大師の主張を真義として受け入れました。その『法華經』を蔑ろにし、初等教育ともいえる方便や権教を重んじよと教えるのですから、いかに高名な先師といえどもその咎を免れることは出来ません。

「法然はこれら浄土三師の流れに連なる者ですが、彼らと同様に佛教の根源を知らぬ者といえるでしょう。なぜならば、すべての大乘經典や弥陀以外すべての佛、菩薩、神々を捨てよ、閉じよ、閉じよ、捨てよと説き、多くの人びとの心を迷わしているのです。この捨閉闍拋の四文字は、法然一人が勝手に解釈した言葉であり、まったく釈尊の説に基づくものではない。まったくの妄語といえ、悪口の罪は他に比べるもな、いかに責めても余りあるものといえよう」

氷点下の水行祭を開催!!

富山県魚津市 真成寺聖徒団 谷川寛俊団長

令和三年十二月十九日、魚津市真成寺聖徒団にて「冬至水行祭・ほしまつり」が開催された。第十四回目を迎えた今年度も、フーニユースをはじめ、地元各新聞で大きく報道された。

厳重な感染対策の上、二年ぶりの研修会を開催



参加者と石黒講師 (研究局局長)

令和三年十二月六、八日にかけて、名古屋市の第二富士ホテルを会場に、教学・靈断法研修会が開催された。この研修会はコロナ禍で長い間中止となっていたが、三年ぶりに開催された。参加者十九名の内、十三名が九月に相伝講習会を受講した新靈断師だった。



小泉講師 (教務部長)

抗原検査、換気、外出制限等の感染対策の下、一日目は小泉講師(教務部長)、松森講師(教務部長)による教学の講義が行われた。二日目以降は石黒講師(研究局局長)、新聞講師(靈断部長)、永田講師(靈断部)による九識靈断法の講義が行われた。参加者それぞれが持ち寄った教学、九識靈断法に関する疑問や質問にも各講師が丁寧に答え、新靈断師をはじめ参加者にとって有意義な時間となった。参加者それぞれの自坊にて、靈断布教により一層励むという目標を参加者同士で確認し、意識を高めることが出来た研修会となった。

成寺での水行祭に臨みたい一心で、悪天候にも関わらず富山県内はもろろん全国各地より、常連から初参加まで百二十七名が参集した。この日の富山県の気温は、前日からの寒波の影響でマイナス三度となった。

昨年の水行祭の様子を見て胸を打たれ、参加を決意された義足の男性は、車いすのまま水行に臨まれ無事に完遂された。また、ベトナム人の参加者もあり、グローバルな「水行の和」が広が



極寒の中、参加者が寒水を浴びる



かわいい面子どもたちも参加!

まった。水行祭発案者である谷川寛敬副団長は「水行ミソギの文化は、日本古来の伝統文化の一つです。「冬至水行祭・ほしまつり」という行事を通して、日本の伝統文化を伝承させて頂く一端になれば幸せの極みです」と語る。

水行に臨まれた女性参加者の方から「お水を頂くことで、多くの気つきを得る事ができました。水の冷たさ痛さが、私がこの一年、他の人を傷付けてしまった痛みかもしれないと自分を責めていましたが、寛敬上人とお話することで、それを反省と感謝に切り変えることができました。多くの方々のご尽力にて水行ができたこと、感謝致します」という内容の御礼の手紙も届いた。

寛敬副団長は「水行に臨まれたお一人お一人が、何かご自分の中に芽生えた思いを大切に抱いて、今日明日の生きる糧にしています。参加者はもちろん、巨大水盤のご寄進、事前準備のスタッフ、カメラマン、広報の方々や、団長、寺族、檀信徒友人、お手伝い皆様のご協力が無ければ、この様な大きな祭事の開催は不可能であり、一人でも欠けたらこの様な最高の祭事は開催出来なかった」と敬意と感謝の想いを語った。

みおしえ



始より終りまで弥信心をいたすべし。さなくして後悔やあらんずらん。譬えば鎌倉より京へは十二日の道なり、それを十一日余り歩をはこびて今日に成りて歩をさしをきては何として都の月をば詠(なが)め候べき

『新池御書』弘安三年(二二八〇) 聖寿五十九歳

訳：始めから終りまで、いよいよ信心をすべきである。そうでなければ後悔するであろう。例えば、鎌倉から京都までは十二日の道のりである。それを十一日余り歩いて、あと一日となった時に歩くのをやめたのでは、どうして都の月を詠ずることができようか。



教学部長
和歌山県龍光寺聖徒団団長
松森 孝雄

本抄は、日蓮大聖人が身延の地から、新池左衛門尉に与えられたとされるお手紙である。当時、二度目の蒙古襲来の危機が迫っており、人々は恐怖に怯え、大聖人門下にも不安が広がっていた。そのような中、「鎌倉から京都への旅路」の例えを通して、成佛のため、何があっても諦めることなく、最後まで信心を貫くよう励まされている。

上は、風雨による橋の断絶や、盗賊に襲われる危険など、決して楽な行程ではなかった。しかも、困難を乗り越え、十一日もの道のりを進めてきたとしても、最後の一日になって歩みを止めてしまえば、目的地の京都に辿り着くことはできない。大聖人は、「始より終りまで弥信心をいたすべし。さなくして後悔やあらんずらん」と仰せである。信心は順調な時も逆境の時も、水が流れるように持続することが大切であり、途中で退転してしまえば、必ず後悔すると戒められている。しかし、凡夫の心は揺れ動きやすいものである。情性や慢心に陥り、困難に直面した時に諦めてしまえば、真の喜びも成長もない。前進を妨げるものは自身の弱心だと自覚して、「いよいよ」の決意で挑戦していけば、すべてを乗り越えることができるのである。

身延山でお会いしましょう

五重塔

この身延山五重塔は91世日光上人の発願により全国皆様の御丹誠のもと、92世日総上人のとき130年ぶりに復元され、平成21年5月13日より5日間に亘り落慶式が奉行された。身延山に五重塔が創建されたのは元和5年(1619)加賀藩主前田利常公の母、寿福院の寄進によるもので、御大工鈴木近江守長次の作であった。

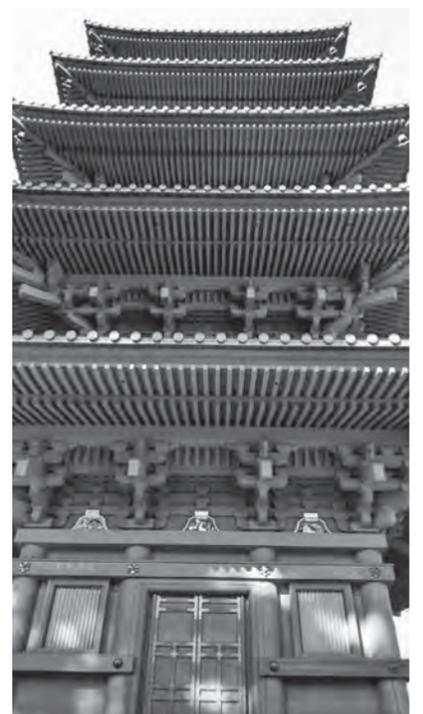
しかし、元和の塔は文政12年(1829)に焼失し、後に再建されたが再び明治8年(1875)の全山を巻き込む大火により焼失した。

現在の五重塔は元和5年、初代五重塔の復元であり、明治以降諸堂復興の総仕上げで、悲願ともいえる大事業であった。

この五重塔は、宮大工の伝統技術と最新工法の融合により蘇ったものである。



五重塔外観



近くから見上げた様子

よろこびちゃんの質問箱

二月十五日は涅槃会

二月十五日は、お釈迦様が亡くなられた日です。「涅槃会」といいます。三十五歳で悟りを開かれたお釈迦さまはその後、四十五年にもわたり、人々に教えを説く旅を続けられ、その間にたくさんの方がお釈迦さまの教えに導かれ、弟子や信者となっていったの。長い長い旅路の最期となったのは、クシナガラ(今のインド)という所。いよいよ自分の死が近いことを察したお釈迦さまは、「私の亡きあとは、私ではなく自分自身をより所として、また私が伝えた教えを、闇を照らす灯(とも)として、歩んでゆきなさい」

と最後の言葉を残されているのよ。お釈迦さまのご命日には、お釈迦さまのご遺徳をしのんで全国各地のお寺で涅槃会の法要が行われるのよ。ちなみに翌日の二月十六日は日蓮大聖人がお生まれになった日！ご聖日は、お釈迦様、日蓮大聖人への感謝のお題目をお唱えしましょう！

よろこびちゃんに質問がある方は九段事務所までご連絡ください。



読者の声



皆さまの感想をお待ちしています♪

心より感謝申し上げます。

〇青森県 堀内様

この度はクロスワードの景品を送っていただきまして、ありがとうございました。「待てば甘露の日和あり」の感がして、とても嬉しいです。今後も脳トレに励みながら、景品も楽しみにしています。

〇島根県 高橋様

お寺でいただいた新聞「よろこび」の中に「数珠」についての作法等が詳しく絵付きで教えていただきました。違う宗派で育った私も改めて知ることができました。毎月の月守りは「よろこび」と一緒に子どもたちに送っています。

よろこび法話

仏の子として



和歌山県和歌山市 妙宣寺聖徒団团长
日蓮宗全国靈断師会連合会副議長
弘宣局教宣部部長

蘆田 恵教

月参りをしているお檀家さんの会話で、「お上人、一生懸命に仕事をしてくれて、それなりに楽しく暮らしてきたんだけど、最後死ぬ時『いい死に方』ってどういうことを言うんですかね」と言われた方がおられました。「以前ある雑誌に『いい死に方』と『悪い死に方』について掲載されていました。それには『いい死に方』とは「幸



せな死に方」であり、それには世俗的な価値観から距離をおいてみる。死を見据える、今までは違う生き方をしてみるのが良いとの事。また、菩提寺の無い方は供養をお願いしたいお寺を見つけて、このお寺に葬ってもらおうのだという安心を得る事だそうです。

現代社会では、身寄りが居ない方でも医療機関が最後を看取ってくれます。葬儀も葬儀社がしてくれま。しかし、故人が遺骨になってからは、弔って供養してくれる人・場所が必要になります。

そして「悪い死に方」とは「惨めな死」のことであり、「死後、自分を供養してくれる人」がいないという「死後の不安」を持つ死に方だということです。家族や親族がいても、引き取り手の無い遺骨や忘れ物として届けられる遺骨が増えているようです。

死は必ず訪れます。だからこそ、先ず死後の自分を考えるべきであります。

昔、「大往生」(永六輔さん)という「死」をテーマに書かれた本の中に「いかに死ぬか」という事は、いかに生きるかということ。「死に様とは生き様の事」という言葉がありました。

日蓮大聖人は「妙法尼御前御返事」という御遺文の中で「人の寿命は無常なり。出る息は入る息を待つ事なし。風の前の露、なお譬えにあらず、賢きも愚きも、老いたるも若きも定めなき習いなり。されば先ず、臨終の事を習うて後に他事を習うべし」

この御遺文は信者である妙法尼さんからの、「主人は南無妙法蓮華経を夜も昼も唱えて、いよいよ臨終が近くなったら二声高声に唱えました。そして最後は生きていた時よりも、安らかな顔でした」という、ご主人の臨終された報告のお手紙に対する御返事です。

これに対して日蓮大聖人は、人の寿命の無常さを風の吹く前の露に喩えられて、「先ず臨終の事をわきまえて、その後で他の事を学ぶべきである」と、どんな人でも必ず死んでしまふ、だからどの様に死を迎えるか、また自分の死後の事を弁えておく。とお示しになりその為には、どう生きなければいけないのか。生きるべきなのかを言われています。

「法華経の名号を持つ人は、今生と過去世の黒業の大悪が変じて白業の大善となる。まして過去世からの善根はみな変じて金色になる」また「あなたのご主人は臨終に際し南無妙法蓮華経をお唱えになられたのであるから、無死の悪業も変じて仏様の種となったのです。煩惱即菩提、生死即涅槃、即身成仏という法門はこのことなのです。このような人と夫婦として縁を結ばれたのですから、あな

たの女人成仏も疑いがないのですよ。」と、この言葉は妙法尼さんにとって、この上ない救いになった事でしょう。

法華経に「今この三界は皆是我が有なり、その中の衆生は悉く是れ我が子なり」と説かれています。この世界は仏様の大事な財産であり、生きとし生ける私たちは仏様の子供であると言われています。仏の子として恥じない生き方をしなければなりません。いい加減な毎日を送る事は出来ないでしょう。

この世において、受け難き人身を受け、会い難き妙法に出会えた私たちは、この限りある人生の中で果たしていく使命があります。それは各々の立場で南無妙法蓮華経の道を持ち、行い、護り、弘めることです。私たちが一人ひとり見守ってください。ある俱生神月守を着帯し、南無妙法蓮華経をお唱えする信仰を生活の基として、みんな一緒にみんなの幸せを願うことです。共に生き、共に栄えて、共に歩んでいきましょう。



本誌イラスト 小川けんいち

毎月身延山で開眼・祈願し皆様の聖徒団に届きます
●家族みんなで持ちましょう。
●経営者の方は、是非
従業員皆で着帯しましょう。
(異体同心の職場になります)



俱生神月守

全国のよろこびちゃん vol.100



三嶋蔵之介くん 九歳
だじゃれが大好き!



三嶋はなちゃん 十歳
ニニスを頑張っています。

宮崎県川南町 智浄寺聖徒団 (片寄智康团长)

ほっと絵手紙の料理のイラストと、愛知県小川秀雄さん(左・右上)、宮崎県大橋厚子さん(右下)の絵手紙です。ありがとうございました。

砥森山 法華寺
生きて救われの道場
住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞
〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一 三十番神祈願道場
顕本寺聖徒団
团长 小泉 輝泰
「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

長栄寺聖徒団
宮川雪江さん(左)・山田れい子さん(右)
御守護に感謝しています
三松山 長栄寺
〒100-0402
東京都新島村本村3-1-4
TEL 04992(5)0168
FAX 04992(5)0111

利生寺
靈断院院長 利生寺聖徒団团长
末吉 観道
〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺
日蓮宗靈断師会連合会 会長
日蓮宗宗会議員 正蓮寺聖徒団 团长
大塩 孝信
〒290-0151 千葉県原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288